

NAVIGATION 情報ナビ



子供の体調を気遣いながら保育をするスタッフ(ハイジ)

子供が病気になってしまったが、仕事があるので会社を休めない。そんな時に利用したいのが、病気の子供を専門に預かる「病児保育施設」だ。医療機関が自治体から委託されて運営し、保育士や看護師が常駐している。働きながら子育て

てをする保護者の手助けとなっている病児保育施設の概要を、松本市と塩尻市を例に紹介する。

【松本市と塩尻市の場合】

松本市は、相沢病院の病児保育室「ひだまり」(本庄2)と、梓川診療所の「あずさ病児保育室ハイジ」(梓川)と、塩尻市は、桔梗ヶ原病院の「キッズステーション」(宗賀)がある。対象年齢は、松本市の施設が5カ月から、塩尻市の施設は6カ月からで、いずれも小学校3年生までとなる。

病児保育施設 保育士と看護師が対応

在で市内の保育園または幼稚園に通っている子供は無料(1日当たり8時間まで)となる。これ以外の該当者は、それぞれ決められた料金を負担する。

1日に受け入れる定員は、ひだまりが4人、ハイジが8人、キッズステーションが6人だ。松本市や塩尻市によると、平成26年度(2月末現在)の延べ利用者数は、ひだまりが407人、ハイジが630人、キッズステーションが31人。

保育園や幼稚園に通い始めて慣れない環境に疲れが出てくる年度始めや、体調を崩しやすい季節の変わり目、インフルエンザの流行期は満員の日があるという。

【静養できる環境充実】

定員数が最も多いハイジを、実際に見学してみた。布団に寝て休養する部屋と、おもちゃ等で遊べる部屋が分かれており、個々の

中信地区の病児保育施設と病後児保育施設

- 病児保育施設
    - (松本市)
    - ・相沢病院病児保育室「ひだまり」☎0263・33・8600
    - ・梓川診療所「あずさ病児保育室ハイジ」☎0263・88・5681
    - (塩尻市)
    - ・桔梗ヶ原病院キッズステーション☎0263・54・1827
  - 病後児保育施設
    - (松本市)
    - ・松本市こどもプラザ☎0263・29・3400
    - ・松本市南郷こどもプラザ☎0263・32・6315
    - (塩尻市)
    - ・桔梗ヶ原病院キッズステーション(同上)
    - (池田町)
    - ・池田町立池田保育園☎0261・62・2043
- (県こども・家庭課等の資料から抜粋)

子供の体調に合わせて過ごせるように配慮されていた。子供たちは、穏やかな雰囲気の中で保育士や看護師と遊ぶなどしながら静養していた。

ハイジの保育士・小野由佳さん(25)によると、仕事を理由に挙げる親が多いが、上の子供の学校行事に参加したいが体調を崩した下の子を一緒に連れて行けない、自分も具合が悪いので子供の面倒を見るのが大

変、学校に通っているので授業を休めないといった保護者もいるという。小野さんは「病児保育の施設があることを知って安心して利用してほしい。お母さんやお父さんの力になりたい」と話している。

病気は治ったけれど保育園や幼稚園で集団生活をさせるのはまだ心配という子供を預かる「病後児保育」を行っている施設もある。

(石川鮎美)